

令和7年度 第1回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和7年6月26日（木） 10時00分～

場 所：湖西市役所防災センター2階

出席者：委員13人＋事務局4人

会長	片山 彰宏	湖西市 副市長
副会長	匂坂 隆弘	湖西市 都市整備部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学 教授
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	服部 光真	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	山岡 広幸（欠席）	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	中山 國光	（社）静岡県バス協会 専務理事
委員	八木 雅子	中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	新垣 賀規	遠鉄タクシー㈱ 労働組合 執行委員長
委員	片山 広文 （代理：木村 大志）	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	澤口 奨則	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	森田 克巳 （代理：鈴木 崇太）	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	彦坂 昇	湖西市自治会連合会 会長
委員	石田 明正（欠席）	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄	湖西市社会福祉協議会 会長
事務局	片山 徳二	湖西市都市整備部 都市計画課長
事務局	山下 祐介	湖西市都市整備部 都市計画課 係長
事務局	榊原 徹	湖西市都市整備部 都市計画課 主査
事務局	中村 優	湖西市都市整備部 都市計画課 主任

資料No.	議事次第
1－1 1－2	令和6年度コーちゃんバス利用状況について
2	令和6年度コーちゃんタクシー利用状況について
3－1 3－2	小学生対象コーちゃんバス無料乗車企画について ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて
4	湖西市地域公共交通計画の改定について
5	令和6年度湖西市地域公共交通会議決算について
6	コーちゃんタクシーの拡充及び自家用有償旅客運送の実証運行について
7	令和8年度湖西市地域公共交通確保維持事業に係る計画について

1 開会

2 会長挨拶

本日はお忙しい中、湖西市地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

湖西市副市長の片山です。本会議の会長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、日頃から市の公共交通行政に対しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では現在、田内市長のもと、コーちゃんタクシーの拡充をはじめ、地域のニーズに合ったより良い地域交通の未来に向けて、様々な検討を重ねております。また、今年度は湖西市地域公共交通計画の改定を予定しています。

本日は、コーちゃんバスやコーちゃんタクシーの令和6年度の利用状況、地域公共交通計画の改定などの報告事項が4件、コーちゃんタクシーの拡充についての協議事項が3件ございます。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の本市の地域公共交通の改善に活かしていきたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 報告事項

(1) 令和6年度コーちゃんバス利用状況について

<事務局>

- 資料説明（資料1－1、1－2）

<座長>

- 無料券と比較すると半額券の利用が減ったということだが、支援内容を2年間無料から永年半額に変更したことについて、利用者から市へクレームや意見などはあったか。

<事務局>

- 特にそういったクレームや意見は受けておらず、むしろ今まで2年間のみ支援であったところを永年の支援としたことで、利用者の不満の声は減ったと認識している。

<座長>

- ダイヤ改正もあったので、今後、徐々に新制度が浸透していくことを期待する。

<中山委員>

- 利用者増の主な要因として、浜名特別支援学校高等部生徒の新規利用が挙げられていたが、浜名特別支援学校高等部生徒の以前の通学方法はどのようなであったか。

<事務局>

- 元々浜名特支が運行していたスクールバスを利用していたが、新居地区のスクールバスが廃止となり、代替でコーちゃんバスを利用している。

<彦坂委員>

- 利用者や運賃収入が増えた一方、運行経費も上がり、収支率としては前年度と同水準という中で、市として収支率の目標はあるのか。

<事務局>

- 公共交通計画 P40 に令和6年度の収支率の目標として11.64%を設定している。現状が10.18%であるため、1%ほど低いのが現状。目標達成のため、利用者を増やすのか、あるいは経費を減らすような見直しを図っていききたい。

<彦坂委員>

- 目標を達成するための様々な施策は当然考えていくべきだが、本数を減らしていくのは公共交通の利用度が下がっていくことに繋がってしまうと思うので、利用者を取り込むような施策が必要ではないか。例えば、中部運輸支局のパンフレットに記載があるように、通勤・通学・買い物・観光の部分で公共交通が必要とされているとすると、経費との兼ね合いもあるが、この中で通勤・通学・観光の利用者を増やしていくような施策の検討を今後も続けていただきたい。

<座長>

- 効率的な運行のため、昨年のダイヤ改正で経費上昇を抑えられていると思うが、収支率が下がらないようにするためには利用者を増やす方向性ではないか。需要をどのように捉えるか、通勤通学や駅へのアクセスなどのニーズ把握ができるとよいと思う。

(2) 令和6年度コーちゃんタクシー利用状況について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<八木委員>

- 今後の資料で、目的地のランキングに関して、どこの地区の施設かを明記してほしい。どこからどこへ向かったのか分かりやすくなると思う。

<座長>

- 岡崎地区でこれだけ利用者が増えているのに、収支率は下がっているのは、昨年10月のコーちゃんバス路線の見直しの影響もあるか。

<事務局>

- その可能性もあるが、今までコーちゃんバスを利用していた人がコーちゃんタクシーに移行したのかどうかまでは把握できていないのが実情。

<新垣委員>

- 周知活動が利用者増の要因だと思うが、周知を行った場所や回数について教えていただきたい。

<事務局>

- 昨年度は20～30回程度、地域の会合やいきいきサロンなど、高齢の方が集まる場所に出向いて周知を実施したほか、民生委員に対しても説明会を実施した。

<座長>

- 説明会の場で登録もしてもらったのか、それが登録者増の大きな要因か。

<事務局>

- それも行ったが、新聞で取り上げてもらった影響が一番大きかった。

<新垣委員>

- 登録者の年齢層はどのくらいの方が多いのか。

<事務局>

- 70-80代がメインだが、利用者の裾野を広げていきたいと考えている。

<中山委員>

- コーちゃんバスの場合は乗り合い前提なので、人が乗るほど収入が上がっていくが、コーちゃんタクシーの場合は利用者が増えていっても収支率の改善が難しい。何を改善していくことが必要か。利用者が増えていくのは市にとってはいいことだが、収支率を見ていくことも現実的には必要だと思うので、そこへの対策として今後何が必要かは事務局でも考えていただきたい。

<事務局>

- ご指摘のとおり収支率を高めていく重要と考えており、そのために乗合率を高めていく必要がある。1運行毎に委託経費が決まっているため、1台に多くの人に乘ってもらった方が1度の運行で多くの収入が入ってくることになる。乗り合いを促すことを含めた周知が重要。

<座長>

- 乗合の調整について、予約の時点で何人かで予約してもらえればいいが、現状は後からマッチングするのが難しいと思うので、理想はそこがしっかりできるという。
- 収支率は、コーちゃんタクシーとコーちゃんバスでそれぞれあるが、運行経費として、公共交通全体でいくらかかっているのか総合的に見ていく必要がある。例えば、タクシーの利用者が増え、タクシー単体で収支が改善されたとしても、コーちゃんバスからコーちゃんタクシーに置き換えられて、運行経費全体では上がってしまう可能性も考えられる。多くの人の移動を支えることは良いことだが、経費的に非効率になりすぎないように留意する必要がある。
- コーちゃんタクシーの利用実績が溜まっていくと、どの時間帯にどこからどこへ移動するニーズが多いのかという分析ができるので、コーちゃんバスのルートやバス停位置の見直しにもつながっていくのではないかな。

(3) 小学生対象コーちゃんバス無料乗車企画について
ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて

<事務局・県担当者>

- 資料説明（資料3-1、3-2）

<座長>

- 無料デー実施後にアンケートを行ったとのことだが、実施時期と地域によって回答傾向に差がなかったか（都市部と地域での反応差）をお聞きしたい。

<県担当者>

後日回答する。

(4) 湖西市地域公共交通計画の改定について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<八木委員>

- スケジュールについて、3月上旬に地域公共交通会議で承認を受けられるように前倒しで動いていただきたい。

4 協議事項

(1) 令和6年度湖西市地域公共交通会議決算について

<事務局>

- 資料説明（資料5）

<座長>

- 協議事項(1)「令和6年度湖西市地域公共交通会議決算について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(2) コーちゃんタクシーの拡充及び自家用有償旅客運送の実証運行について

<事務局>

- 資料説明（資料6）

<中山委員>

- 運賃を均一にすることについて、本会議での承認事項ではないが、乗り合いのインセンティブがなくなるように思うが、この点に関して事務局内で議論はあったのか。

<事務局>

- ご指摘のような議論は行った。現状、乗合生成の方法については、AIによる乗合生成システムを活用しており、予約締切後に、AIが予約状況を元に、最適なルートと配車を決定するというもの。現状では利用者側からの乗り合いのコントロールが難しく、現状できることとしては、予約時に

知り合いと一緒に予約をしてもらう方法。

- 今後、ウェブ予約対応などにより、予約の状況について利用者が把握でき、乗り合いの便を選択できる状況になれば、乗合割引のようなインセンティブを設ける意味があるが、現状では、運賃体系が分かりにくく、市内均一運賃を望む声が大半であったため、今回の判断に至った。

<新垣委員>

- 遠隔点呼での課題が見えており、安全面を考えた時に上手く意思疎通ができていない。
- 運転する方が市の職員、隣に乗務員が座る形だと思うが、ルートの教育を行っていくのか、今後のスケジュールについて教示いただきたい。

<事務局>

- 遠鉄タクシーと今後詰めていきたい。9月に現場で車両の運転の仕方を含めた講習を行う予定。

<新垣委員>

- 今後利用者が増えた時に、土曜日に出勤する乗務員数を増やしていかないと対応できないという課題がある。働く側としては協力できる体制を作るためにも、9月から検証するというよりも、前倒しで対応いただきたい。

<座長>

- 今回の実証運行で利便性が上がり、利用者は増えると思う。一方、指定施設を約240施設まで増やした時に、隣接している施設も別々の施設として乗合生成が行われるのだとすると、実質的に単なるタクシー補助になってしまう。
- 利用者が声をかけあって乗り合い率を高めていくというよりは、基本的にシステム側で、AIが途中で乗客を乗せ降ろししながら乗合率を高めていく仕組みでないと、タクシー補助を延々と続けていくような形になってしまい、高コストなサービスになってしまう可能性がある。また、高齢者だけでなく、若い方にも広げていきたいといったときに、一般のタクシーとの違いは何か、交通空白地に対する施策から離れたものになってしまわないか、そういった点も今回の実証の中で検証していただきたい。
- 公共ライドシェアの実証について、利用者には、事前にドライバーが市職員（一般ドライバー）であることを伝えるのか。

<事務局>

- コーちゃんタクシー拡充の実証運行の周知と併せて、事前周知を行う予定。

<座長>

- 利用者の方に、市職員（一般ドライバー）の運転に不安がなかったかなどの意見を聞いていくためにも周知をしっかり行っていただきたい。

<匂坂委員>

- コーちゃんバス・タクシーを上手に利用する会でも意見があったが、指定施設の乗降場所が分からないという意見があり、今後各施設管理者や道路管理者と調整を進めていく。ドライバーとの情報共有も重要。場合によっては施設内ではなく、道路上での乗降になることもありうるので、安全に乗降ができるかという観点でも調整を進めていただきたい。

<新垣委員>

- 乗務員の意見として、コーちゃんバスの邪魔にならないか、一般の交通の妨げにならないか、301号線での乗降場所についても検討いただきたい。お客様が反対側にいた場合に不便にならないよ

うに。

<座長>

- 利用者が約 240 箇所の指定施設から行先を探さないといけなくなり、ドライバーも指定施設かどうかの判断が大変だと思う。指定施設に番号を振ることや、あまりに近い施設はまとめてしまう等、考慮した方がいいのではないかな。

<新垣委員>

- 利用者からは 30 分前には予約をしたいという声をよくいただくようだ。ただし、天候やイベント開催などにより、予約が集中する時間帯に、配車センターでマッチングがきちんとできるのかが懸念事項なので、その場合の対応も検討していただきたい。

<座長>

- 協議事項（3）「コーちゃんタクシーの拡充及び自家用有償旅客運送の実証運行について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

（3）令和 8 年度湖西市地域公共交通確保維持事業に係る計画について

<事務局>

- 資料説明（資料 7）

<座長>

- 協議事項（3）「令和 8 年度湖西市地域公共交通確保維持事業に係る計画について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和 7 年度第 1 回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上